

千葉県社保協通信

2022年度 No1 2022年 6月 16日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲1-10-8 自治体福祉セカビル3F

TEL: 043-225-6790 FAX: 043-221-0138 Eメール syaho2022@themis.ocn.ne.jp

憲法9条・25条は一体!! 変えよう!いのち・くらし守る政治に

参議院選挙が目前に迫る中、6月9日(土)千葉市内で定期総会を開催。オンライン併用で11団体・8地域40人が出席。地域からの運動を大きく広げ、憲法改悪を阻止し、社会保障拡充に向け、奮闘することを確認しました。

麻生定雄年金者組合県本部書記長を議長に選出。開会にあたり、竹内敏昭副会長は「戦争につながる大軍拡と改憲策動を許すわけにはいかない。9条まもれ、憲法活かせの世論と運動ひろげることが急務」とあいさつしました。

藤田まつ子事務局長が活動報告。社会保障と県民生活をめぐる情勢に触れつつ「今求められているのは、憲法の理念に基づき国・自治体が責任を持って住民のいのちと健康、安全・安心を確保する施策を実行すること」と新年度の課題と活動を提起。矢澤純副会長が、決算報告と予算案を提案しました。各団体・地域の発言の後、全ての提案を拍手で採択。↗

千葉県社保協 第28回定期総会



▲新年度役員を代表して、神田みさ子事務局次長（新婦人推薦）があいさつし、閉会しました

●連帯のメッセージありがとうございました

- *中央社会保障推進協議会
- *東京社会保障推進協議会
- *神奈川県社会保障推進協議会
- *茨城県社会保障推進協議会
- *千葉県母親連絡会
- *日本共産党千葉県議団



皆さんの発言から

●加藤 久美さん（千葉県民主医療機関連合会）

◎「全世代型社会保障改革阻止闘争本部」を設置。社保学校など学習を重視してきた。◎「コロナ何でも電話相談」「11.11 介護・認知症なんでも相談会」に相談員派遣。◎コロナ関連では医療機関でのクラスター発生時の補償が遡って適用される成果があった。コロナ対策単独補助事業の継続など求めていく。

●馬上 真吉さん（千葉県保険医協会）

コロナによる診療への影響調査の結果～1年前との比較で「増えていない・減った」が約7割。受診抑制で医療機関の経営は深刻。結果をもとに、診療報酬への加算、支援金の追加、安心して医療行為ができるようマスク、グローブ、防護服等の確保を県に要請～医療資材が届き配布。ひきつづき必要な要請を行っていく。

●岩崎 勇さん（全日本年金者組合千葉県本部）

年金は22年度0.4%の削減～安倍・菅・岸田政権の10年間で6.7%もの削減。10月からの「75歳以上医療費窓口負担2倍化中止」「減らない年金」めざして待ったなしの闘いになる。2/15の宣伝は県内24カ所200人で行動した。地域を基礎にして諸課題での共同の取り組みが必要。一緒にやりましょう。

●永島 達哉さん（千葉県医療労働組合連合会）

ある病院では新入看護師の1/3が退職～コロナ禍で厳しい状況が続く医療・介護・福祉で働く仲間を退職に追い込まない、新しい仲間を迎えられる条件づくりと施策を求める取り組みを進めている。県に対し、深刻な人手不足の解消のために医療・介護・福祉労働者の賃金引き上げはじめ処遇改善を求め要求書を提出。

●櫻井まゆみさん（千葉県商工団体連合会）

中小業者にとって消費税10%は厳しい。コロナ禍の「持続化給付金」等が課税対象なものもおかしい。消費税非課税業者に税金かける「インボイス制度」は今でも厳しい営業とくらしに追い打ちをかけるもの。「消費税率引き下げ・インボイス制度は中止・廃止を」署名に協力を！ ◎私の娘は小学生の子どもをもつシングルマザーで看護師だ。物価高で食費負担増、家賃の支払いも大変だ。せめて学校の給食費は無料にすべきと思う。

●田島 潤一さん（千葉県保育問題協議会）

Zoomで研修会を行い、今まで参加できなかった遠方の方の参加があった。コロナ禍の少人数保育で保育が楽しかったとの保育士の声。保育士が楽しければ子どもも楽しい。保育は福祉の立場から保育士増員など保育現場の改善求めたい。9/8 県予算要望書提出。自治体保育キャラバン11/5～30 52市町村。 (2面へつづく)